

令和6年9月16日 発行

第 87 号

浄土真宗本願寺派
山陰教区 神 門 組
発行者 鈴木 二朗
TEL 0853②1570
FAX 0853③3953

「神門組親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年」法要を終えて

神門組組長 鈴木 二朗



本年四月二十日（土）、大社町の大社文化プレイスうらら館に

おいて「神門組親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年」の慶讃法要を厳修することができました。当日は天候にも恵まれ寒暖の差を感じることもなく、多くの門信徒の皆様にご参詣をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、当日の午前中には乗光寺本堂にて、本山からご門主ご代行の出勤により、八十余名の皆様にご参詣いただきました。念仏奉仕団などに参加された方はすでに法名をいただかれていたとは思いますが、この度は生前に法名を授かることをご存じではない方がほとんどであり、一般には本山以外で帰敬式を受けることは難しく、今回のご法要において良縁に恵まれたのはと自負しております。

さて、本山では昭和三十六年に親鸞聖人七百回大遠忌法要がお済みになり、その十三年後の昭和四十九年に御誕生八百年・立教開

宗七百五十年が厳修されたと聞いております。

神門組でも昭和五十年ごろに出雲市体育館にて、三千名を超える参加者とともに勤まったとの記録がありました。その際には現在の前門主、即如上人が新門としてご臨席を賜ったことも記されています。

平成十年の八代蓮如上人五百回大遠忌を機に始まった御影堂の屋根の葺き替えから四半世紀、本山では数年ごとに大きな法要が勤まりましたが、今後二十年前後は大きな法要の予定もないと聞いております。

今回の神門組の法要は、今まで大遠忌法要に携わったことがなかった若い僧侶方に全てを任せ、最初で最後の法要との思いを込めて企画から実行まで念仏・ご法義相続のために次の時代の法要のあり方を考えてもらいました。経験という下地のない中で、長期間にわたりやりたいこと、できること、できないことなどを模索しながら計画・立案し、この度の法要を無事に終えることができました。若い僧侶や寺族の皆様はもとより、

当初より準備やお手伝いをいただきました教化団体・関係者の皆様方に衷心より御礼申し上げます。また当日ご参詣をされました門信徒の皆様方や有縁の方々にも、改めて御礼を申し上げます。この時代に「いのち」を授かったことに喜びとご縁を感じているところです。

神門組では、すでに本年は二人の新住職を迎えました。また来年にも若い住職が継職する予定です。住職に就任してもすぐに住職としての職務を果たすことはできません。門信徒の皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。合掌



神門組慶讃法要実行委員会の会議

特集

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年

神門組慶讃法要

「AI時代もAMIDAといっしょ」

慶讃法要円成の御礼

神門組慶讃法要実行委員会事務局

真宗寺住職 堀西 雅亮

四月二十日(土)、大社文化プレイスうらら館において、「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年神門組慶讃法要」が厳修されました。

目指したのは、年代・地域・立場などを超えて多様な人々とともに安心して集える場。「AI時代もAMIDAといっしょ」のテーマのもと、当日は五百名を超える方々がご参拝・ご参加くださいました。神門組内の方々はもちろん、他組、他宗派の方、また子どもから年配の方まで、様々な方とご一緒にこのご勝縁にお会いすることができました。目まぐるしく変化する時代において、どんな時代でも変わることのない「安心」を、ともにお念仏のみ教えに聞かせていただくご縁となりました。

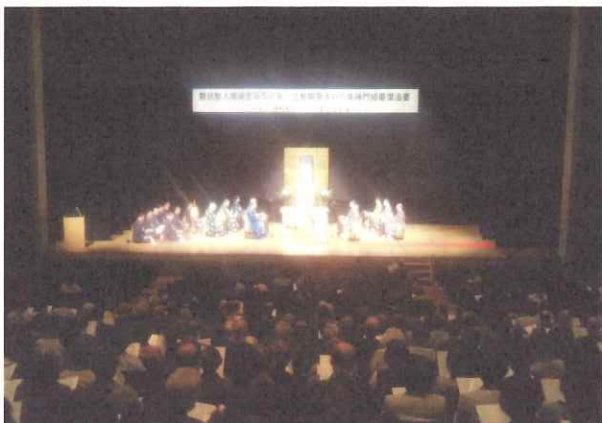
本法要の厳修にあたり、ご支

援ご協力をいただきましたすべての皆様に、厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

合掌

グラフィック 慶讃法要

慶讃法要



慶讃法要のお勤めは、この法要にあたって本山で制定された『新制御本典作法』を用い、皆様が日ごろよくお勤めされる正信偈を普段とは異なる節でお唱えしました。また山陰教区の雅楽会『雅龍会』の方々の演奏も合わせ、普段の法要とは一味違う雰囲気を感じていただけたと思います。



山陰教区雅楽会『雅龍会』の皆さん

記念法話

記念法話講師

北豊教区小倉組

永明寺住職

松崎智海師

(福岡・北九州市)



X(旧Twitter)やYouTubeでのユニークな投稿で「バズる住職」と話題の松崎智海師を講師にお迎えし、今回の法要テーマ「AI時代もAMIDAといっしょ」に沿った記念法話をいただきました。



お寺deマルシェ

お寺でマルシェでは午前中より沢山の方々にご来場いただき、飲食ブースは法要までにはほぼ完売となりました。



初めてキッチンカーで注文した人もあったのでは...? 甘い匂いやスパイシーな匂いなど美味しそうな匂いで溢れていました。法要までの時間をゆっくり美味しいものを食べながら過ごしていただきました。



ごえんホール(飲食スペース)

念珠づくり体験では、小さなお子様から女性も男性もたくさんの方々にマイ念珠を作ってもらいました。



腕輪念珠
うまくできるかな?

販売ブース(刑務所作業製品・本願寺出版社など)では、多くの人でにぎわいました。

協賛行事

帰敬式



協賛行事として、法要に先立って、大社町乗光寺において「帰敬式(おかみそり)」を行いました。本山からご門主のお手代わりに出向いただき、厳肅な雰囲気の中で今回八十二名が受式され、法名をいただきました。



神門組慶讃法要
パンフレットと記念品

令和六年度(第五期) 神門組実践運動の 取り組み

本年度より第五期実践運動の重点プロジェクトが開始しました。

神門組ではこれまでの「フードバンク」・「子どもたちの笑顔のために募金」活動の他に、エコキヤップ収集運動にも取り組むこととし、本年度第一回フードバンク活動(八月二十一日実施)に併せて回収し教務所に送りました。(約2kgでワクチン一人分・今回約20kg収集) 皆様のご協力に感謝致します。次回もご協力をよろしくお願いたします。



出雲市社会福祉協議会へ

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年 正應寺第十六世住職継職 慶讃法要を終えて

正應寺第十六世住職 藤原 隆



この度、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要に併せ、正應寺第十六世の住職を継承し、阿弥陀如来の御前にて、住職継職奉告法要をお勤めさせて頂きました。

五月五日(日)、法要当日は天候にも恵まれ、ご門徒の皆様をはじめ多くの方々に参列していただきました。この度の法要では、復元新築された山門の落慶法要も併修され、ご出勤のご寺院様方は山門にて散華、本堂正面より入堂されました。法要はお勤めの後、記念式典が行われ、ご本山からの達書伝達、新旧住職の挨拶と進み、記念法話までつつがなく終えることができました。

法要にあたっては、西念寺様、常念仏様には、準備から当日の進行まで大変お世話になり、師匠寺の善徳寺様、神門組長の明顕寺様をはじめ多くのご寺院様にご出勤いただきました。また



覚専寺住職佐々木俊教師には記念法話をいただきました。誠にありがとうございました。

また当山のご門徒の皆様には、法要の計画・準備から当日の運営に至るまで、何から何までお世話になりました。この度の法要をお勤めすることができましたのは、まさにご門徒の皆様のおかげと感謝の気持ちで一杯です。

まだまだ未熟で分からないことだらけではありますが、法要にご出勤いただいた寺院の皆様やご門徒の皆様からの期待にこたえるべく、住職として恥じないよう精進してまいります。そして、これまで正應寺を支えてきた前任職や前坊守をはじめ多くの先人の方々の思いを受け継ぎ、伝統を守りつつ、ご門徒の皆様とともに歩んでいきたいと思えます。今後ともご指導のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

合掌

退任のあとさき

正應寺第十五世住職 藤原 眞哲



昭和四十六年三月三十一日、ご門主さまより住職任命の辞令を頂戴してより五十年が間近い令和元年五月二十三日、正應寺合同役員会で「住職在職五十年で退任したい」との意思表示をいたしました。この結果どういう動きがでるのかいささか心配でした。門徒総代を中心いろいろな検討した結果、約四か月たった九月に「この問題を総代会を中

心に主体的に取り組んでいく」という方針がまとまりました。これまで大きな行事や法要は、住職主導でやってきましたが、いささか心配でしたが見守ることにしました。

早速総代さんに動きが出てまいりました。「正應寺継承事業委員会」や「常任委員会」が立ち上がりました。ちょうどご本山の「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年の慶讃法要と、山門復元新築法要も併せてお勤めする」という大枠が決まりました。もちろんご門徒さんだけでは難しいことも多くありましたが、相互に知恵を出し合いながら協議を進めていきました。途中コロナの流行もあり、会議の中止や遅延もたびたびでした。

法要当日の令和六年五月五日は清々しい朝を迎えました。本堂はいっぱいとなり、ご門徒さんも生き生き、本堂にご苦勞さまでした。この度の法要はご門徒さん手作りの事業であり法要であったと思っております。ご門徒さんパワー全開。

近隣各地寺院の皆様、ご門徒の皆様、本当に永い間有難うございました。

合掌

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年 長楽寺第二十一世住職継職 慶讃法要

長楽寺第二十一世住職 藤野 敬信

長楽寺では「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年」のご縁にあわせ「長楽寺第二十一世住職継職」の慶讃法要を、五月十九日（日）お勤めしました。

当日、法要に先立ち参拝者全員が境内の親鸞聖人像に献花し、午後二時より衆人による雅楽の音を先導に、このたびの法要記念に新しくなった境内の石畳を庭儀しました。



法要はご法中と参拝者一同で声高らかに勤めし、続いての式典では鈴木二郎神門組組長様より新任職への本山辞令・布野信之法要委員長への本山褒賞の伝達をいただきました。

法要の記念法話は、広島県三原

市・教専寺ご住職で本願寺中央仏教学院院長の福岡義朝先生よりいただき、満堂の参拝者一同でお念仏の意味合いを聞かせていただきました。

長楽寺役員・門信徒、ご法中をはじめとする方々のお蔭をもって慶讃法要がお勤め出来ましたこと、お礼申し上げます。



新任職挨拶



平成二十九年に結婚・入寺してから早七年。この度、前任職

となられた昭信師は実に物腰柔らかなで、至らぬ私を月明かりが照らす如く、穏やかに導いて下さいました。

また、神門組ならびにご門徒の皆様にも温かいお育てをいただき、感謝の念に堪えません。

これからは思いを新たに、戦国の世から連綿と受け継がれてきたこの長楽寺を護持し、ますますご法義繁盛に努める所存でございます。合掌

前任職挨拶



昭和六十三年より長楽寺住職を継職し三十六年、この間神門

組のご寺院・門徒の皆様には様々な面でお世話になりました。

また住職としても総代・世話人さん・ご門徒・有縁の皆様のお蔭をいただき、長楽寺整備の各事業が完成できましたこと、そして何よりも寺の各法要には

長楽寺第二十世住職 藤野 昭信

お知らせ

社会の変化が言われる中、参拝者が減ることもなく賑やかに参りいただいたことは住職として大変有り難いことでした。お育ていただいたお礼と共に、今後の新任職のもとでの長楽寺を宜しくお願い申し上げます。合掌

神門組実践運動（第五期）
フードバンク
エコキャップ収集のお願い

【第二回】
令和6年12月3日（火）

10:00～15:00
明顕寺までお持ち出し下さい
（キャップは洗ってください！）

お悔み

西圓寺（上島町）前坊守佐々木美智子様が、令和6年4月30日、98歳でご往生になりました。ご生前のご苦勞を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。

神門組新役員

組長(再任)



鈴木 二郎(明顕寺)

副組長(再任)



雲藤 一英(西念寺)

副組長(再任)



亀谷 恵隆(光林寺)

副組長(再任)



藤原めぐみ(正善寺)

監事

三浦 寛信(長泉寺)
三島 秀昭(願勝寺)

教区会議員

僧侶 勝島 徹正(願立寺)
門徒 今岡 一眞(西蓮寺)

協議員(兼広報編集委員)

東部 太田 広見(善福寺)
南部 澤田 佳亮(西善寺)
西部 大梶 香恵(能正寺)
北部 北島 清秀(乗光寺)
中央部 堀西 雅亮(真宗寺)

各事業担当者 団体役員と担当者
(本年四月一日現在)

連研担当

亀谷 恵隆(光林寺)
藤野 敬信(長楽寺)

僧侶研修担当

藤原めぐみ(正善寺)
太田 広見(善福寺)

仏教壮年会連盟

理事長 須山 宏幸(正蓮寺)
副理事長 吉田 博(長楽寺)
事務局長 三島 一男(正蓮寺)
担当 日溪 浩道(正蓮寺)

仏教婦人会連盟

委員長 奥井喜代美(西念寺)
副委員長 園山 正恵(長楽寺)
副委員長 北島 典子(乗光寺)
担当 雲藤 一英(西念寺)

少年連盟

委員長 雲藤 一英(西念寺)
副委員長 松林 彰信(浄眼寺)

コール・蓮

代表 太田 千恵(善福寺)

総代会

会長 神田 進(光林寺)
副会長 三島 義一(正蓮寺)
副会長 木代 伸治(願勝寺)
担当 亀谷 恵隆(光林寺)

寺族婦人会

会長 亀井 京子(清龍寺)
事務局 三島 律子(願勝寺)
担当 亀井 義教(清龍寺)

門徒推進員連絡協議会

会長 今岡 昌紀(願楽寺)
副会長 福城 育夫(乗光寺)
副会長 奥井 昌子(明顕寺)
事務局 本田 和政(正善寺)
担当 西本 巧恵(願楽寺)
実践委員会
委員長 大梶 香恵(能正寺)
副委員長 佐々木弘信(西圓寺)
広報編集責任

※9月16日現在の予定です。
お誘いあわせお参りください

報恩講のご案内

中央部			
今市	明顕寺	10月17日	2時より
塩治	長楽寺	10月22日・23日	2時より
白枝	願楽寺	10月25日・26日	2時より
大津	光明寺	10月30日・31日	2時より
下古志	正蓮寺	11月 5日・ 6日	2時より
今市	西楽寺	11月 7日・ 8日	2時より
矢野	長泉寺	11月16日	2時より
白枝	真宗寺	11月24日・25日	1時30分より
東部			
上津	善福寺	11月13日	1時30分より
上津	西圓寺	11月18日	1時30分より
船津	正善寺	11月24日・25日	24日 2時より 25日 10時より
稗原	正応寺	11月23日	1時30分より
所原	東林寺	11月20日	2時より
所原	西念寺	R7.4月19日・20日	1時30分より
西部			
大池	慶正寺	11月 3日	1時30分より
神門	浄眼寺	10月 6日	2時より
口田儀	清龍寺	11月15日	1時30分より
奥田儀	能正寺	11月18日	1時30分より
差海	観音寺	11月19日	2時より
江南	西蓮寺	11月23日	2時より
神門	願勝寺	10月29日	2時より
久村	西楽寺	11月 3日	2時より

南部			
山口	西善寺	10月19日	1時より
窪田	明円寺	11月23日	1時30分より
山口	光林寺	11月23日	1時より
窪田	明教寺	11月24日	1時30分より
北部			
荒木	明源寺	10月13日	1時30分より
大社	乗光寺	11月27日・28日	27日 2時より 28日 10時より
大社	願立寺	11月28日・29日	28日 2時より 29日 10時より
荒木	知西寺	12月 1日	1時30分より